

道路事業

社会資本整備の戦略的かつ計画的な推進

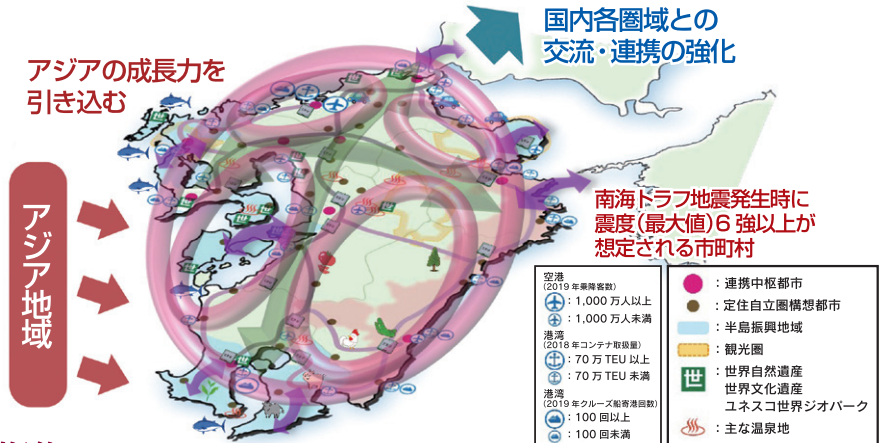
新広域道路交通ビジョン・計画

九州の将来像実現に向けた広域的な道路交通の今後の方向性を定める「新広域道路交通ビジョン・計画」を策定(R3.7)しました。「クロス」を中心とする骨組みを軸に、いくつもの「リング」を形成し、九州全域に広域な道路ネットワークを行き渡らせるとともに、災害に対するネットワークの強靱化を図ります。

『クロス』から『リング』へ 九州リングネットワーク

■『クロス』九州の南北・東西軸をつなぐネットワーク

■『リング』クロスを中心に、リングで新たに連携するネットワーク



広域道路ネットワーク整備の推進

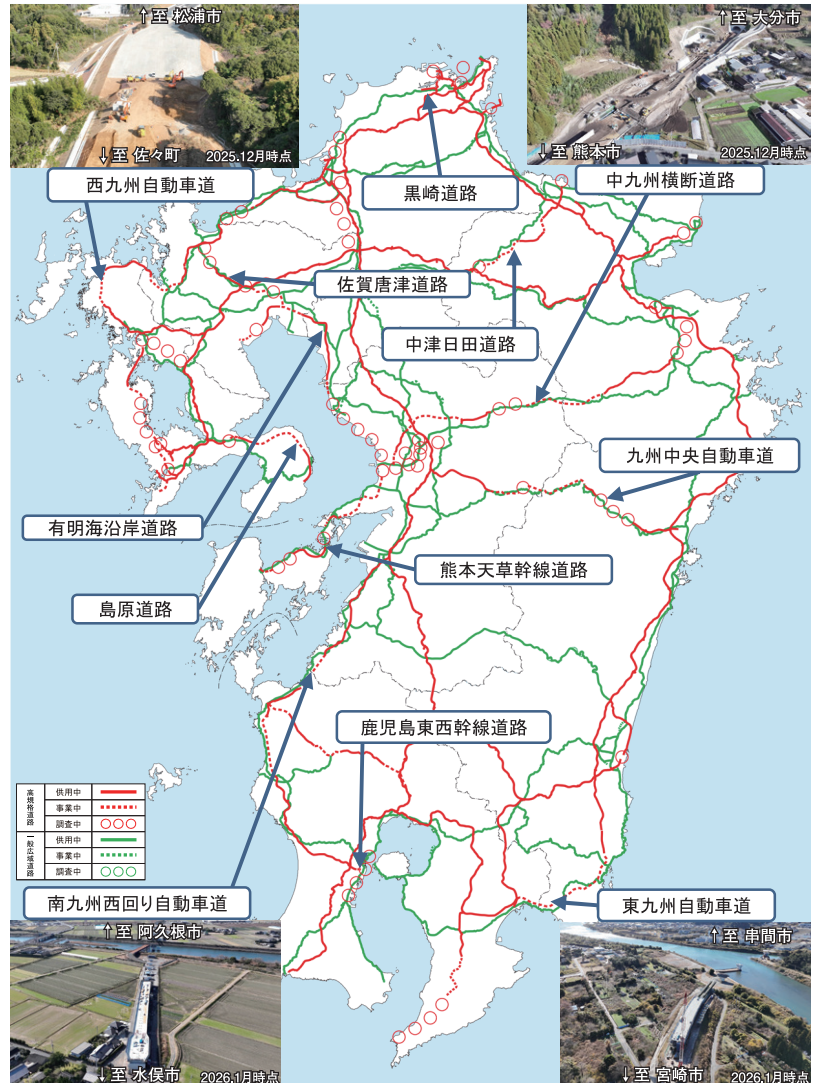
九州の道路ネットワークを整備し、交通渋滞の緩和等による迅速・円滑で競争力の高い物流ネットワークの実現を図ります。

また、シームレスな拠点連結型国土の形成を図るとともに、デジタル実装した社会を支え、人流・物流の円滑化・活性化を図るため、地域・拠点をつなぐ広域道路ネットワークの整備を推進します。

【主な事業中の高規格道路】

- ・九州中央自動車道
- ・東九州自動車道
- ・南九州西回り自動車道
- ・西九州自動車道
- ・黒崎道路
- ・鹿児島東西幹線道路
- ・中九州横断道路
- ・熊本天草幹線道路
- ・島原道路
- ・佐賀唐津道路
- ・有明海沿岸道路
- ・中津日田道路

総延長：約240km



国土交通省が今後目指す高規格道路ネットワークのあり方として、「2050年、世界一、賢く・安全で・接続可能な基盤ネットワークシステム」、通称「ワイズネット」を掲げております。

詳しくはコチラから⇒



防災・減災、国土強靱化の強力な推進(道路)

交通の安全安心確保

通学児童や歩行者等の安全・安心な歩道空間を確保するため、通学路対策等を推進します。



▲整備前



▲整備後

国道34号 長崎県長崎市

インフラの老朽化対策

急速に進む施設の老朽化に対応すべく、老朽化対策を推進します。対策にあたっては定期的な点検・診断により施設の状態を正確に把握することが重要です。



トンネル定期点検

九州道路メンテナンスセンターによる自治体への技術助言状況



効率化、省力化のためDXを活用



点検ドローン

操作者

無電柱化の推進

道路の防災性の向上、良好な景観形成・観光振興、安全で快適な通行空間の確保の観点から策定した無電柱化推進計画に基づき、推進します。

国道208号 福岡県大牟田市(船津地区)【事業中】



▲整備前



▲整備後イメージ

防災



大規模災害(地震、台風等)が起きた時、電柱倒壊による道路の寸断を防ぎます。

景観・観光



景観を阻害する電柱・電線をなくし、美しい景観を取り戻します。

安全・快適



電柱をなくし、歩道を広げることで、歩行者の安全性・快適性を確保します。

無電柱化は、3つの観点から求められています。

魅力ある地域づくり

「道の駅」第3ステージの取組の推進

「道の駅」の第3ステージとして、防災機能強化、地域センター化等に向けた取り組みを推進します。

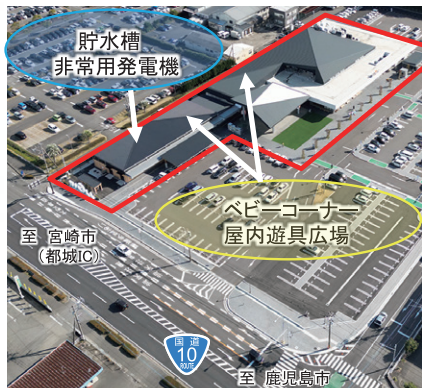
防災拠点化

防災機能強化

防災施設(貯水槽)



防災施設(非常用発電機)



道の駅「都城NiQLL」(宮崎県都城)令和5年4月のリニューアルに併せて、防災施設や子育て支援設備を整備しました。

地域センター化

子育て支援設備(授乳室)



子育て支援設備(屋内遊具)



・防災道の駅「うきは」より、被災地へ防災用コンテナ型トイレを派遣しました。

防災用コンテナ型トイレ外観



被災地での利用状況 (R6年1月能登半島地震 道の駅「あなみず」)

